



KASAMA FAN

笠間が好きなひと。応援したいひと。この指とまれ！

ファン倶楽部通信

2013年 春号
VOL.034

<http://www.city.kasama.lg.jp/fanclub/index.html>



表紙写真提供(敬称略) つつじ公園/中崎文六 春を廻る/福田義康 五月の鯉幟/石崎忠久 値下げはしニヤいよ!/船橋みち フォトコンテスト応募作品より

笠間昔話「山下りん」

笠間のいな吉が行く！

ご当地グルメサミット in 笠間

笠間の桜スポット

春のイベント情報(笠間つつじまつり、陶炎祭 ひまつり)

食の逸品「笠間自然薯研究会」

かさまアート情報 我らは笠間応援団! ほか

ものづくり体験/コース No.13-0112

笠間で自作の1日

詳しくは

[笠間観光協会 HP](#) [検索](#)



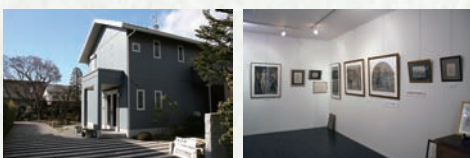
旅行プラン



お箸の材料は、桜・カリンなどから選ぶ事ができます。昼食は「常陸秋そば」を使って蕎麦打ちにチャレンジ! 自作のマイ箸で打ち立ての蕎麦は格別の味わい! 午後からは、窯元を選んで蕎麦猪口、箸置を作る笠間焼陶芸体験! 贅沢な制作三昧の1日です!

旅行代金...8,600円~11,800円(タクシー付き)

出発日...土・日・祝



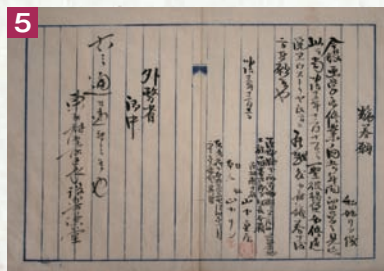
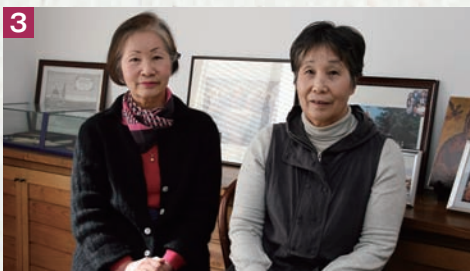
白凜居 茨城県笠間市笠間1510
tel 0296-72-9222 (笠間観光協会)
<http://www.010.upp.so-net.ne.jp/yamashita-rin/>

【3～5月の開館日】

3/5(火) 3/15(金) 3/23(土)
4/9(火) 4/19(金) 4/27(土)
5/7(火) 5/17(金) 5/25(土)



撮影／桑嶋洋一（北海道新聞）



1 晩年を過ごした笠間の住居 2 山下りんの研究に尽力した小田秀夫氏(写真左・山下りんは大叔母)と東京国立文化財研究所の岡隈三郎氏(右)。
3 白凜居を管理・運営する笹目弘子さんと柳澤幸子さん。 4 聖像画の下絵 5 ロシア留学のために書かれた外務省宛ての旅券願



日本最初の女流聖像画家・山下りん

女流聖像画家として知られる山下りんは笠間出身です。彼女が晩年を過ごした笠間市内の住居はすでにありませんが、その敷地内には現在、ご親族の方による私設博物館「白凜居（はくりんきょ）」が建てられています。月3回ほどの開館ですが、絵画や原画を中心に、彼女の足跡が大切に保管されています。

1857年（安政4年）、笠間に生まれた山下りんは、画業を志し、単身上京します。一度は家族に連れ戻されますが、夢を捨てきれずに再上京。住み込みで日本絵画を学んだ後、当時、明治政府が創設したばかりの工部美術学校に見事合格します。1877年（明治10年）のことです。日本初となる女性美術学生6人のひとりとなった山下りんは、西洋の絵画を夢中で勉強しました。その頃、友達の影響でキリスト教のロシア（ハリストス）正教に入信。このこと

が大きな転機になります。来日していたロシア人神父の目に留まり、イコンと呼ばれる教会に置かれる聖像画の描き方を学ぶためにロシア留学を勧められたのです。当時、独身女性が単身でロシアに渡る事は、容易ではありませんでした。困難を乗り越えロシア留学を果たした彼女は2年後に帰国。その後、確認されているだけでも数百点にのぼる聖像画を残しました。聖像画はお手本どおりに描くことを求められますが、彼女の描いた絵は温かみを感じられる独自のもので、美術界で高く評価されています。

生涯独身をとおした山下りんは61歳の時、郷里の笠間に戻ります。白内障を患っていたためか、それから絵は一切描きませんでした。大好きなお酒を飲みながら、1939年（昭和14年）81歳で永眠するまで、悠々自適の余生を過ごしたそうです。

笠間稲荷神社 問/tel 0296-73-0001

<http://www.kasama.or.jp/>

- ◆例大祭 4/9(火) 11:00～
- ◆八重の藤、大藤 5月上旬頃
- ◆御田植祭 5/10(金) 10:00～
場/笠間稲荷神社神饌田(笠間市民体育館近く)
- ◆車の茅の輪くぐり 6/23(日) 10:00～
場/佐白山麓笠間稲荷神社外苑駐車場
- ◆夏越しの大祓・茅の輪くぐり 6/30(日) 16:30～
※祭典終了後、一般の方の茅の輪くぐりを致します。



八重の藤、大藤

出雲大社 常陸 問/tel 0296-74-3000

<http://www.izumotaisha.or.jp/>

- ◆葉神社社例大祭 4/29(月・祝) 11:00～
- ◆春季大祭(お土とり) 5/19(日) 11:00～
- ◆夏越大祓祭 6/30(日) 14:00～

稲田禪房 西念寺(稲田御坊) 問/tel 0296-74-2042

<http://www.inadagobo.org/>

- ◆スプリングセミナー「親鸞の思想とは？」
3/10(日) 13:00～16:00 定員70名
講師/加藤智見先生(東京工芸大学名誉教授)
料金/3000円(3月8日までに要予約。サマーセミナーとのセット割引有。)
- ◆子供の花祭り 3/24(日) 13:30～15:00 子供の花祭り
定員50名 料金/無料
- ◆梵鐘堂再建落慶法要 4/6(土)
落慶法要 13:00～14:30
合唱団「衆会(しゅうえ)」による落慶記念合唱 13:30～14:00
- ◆聖人御頂骨堂(六角堂)結縁春季永代経法要 4/6(土)・7(日)
節談説教(広陵兼純師)4/6(土)14:30～15:30・4/7(日)13:00～14:00
御頂骨堂(六角堂)への「おねり」があります 4/7(日) 10:00～11:00
- ◆水墨画展 4/27(土)～5/6(月・祝) 10:00～16:30
飛田硯水画伯(笠間市出身の水墨画家) 料金/無料



イベント各種 ※掲載は開催日時順

- ◆あたご山桜まつり
4/6(土)～5/6(月・祝) 場/愛宕山大駐車場
問/tel 0296-72-9222(笠間観光協会)
- ◆第11回 北山公園桜まつり
4/6(土)～4/13(土) 問/tel 0296-77-0216(深澤)
- ◆第42回 笠間つつじまつり
4/20(土)～5/12(日)8:00～18:00 ※開花状況により延長する場合あり
料/一般(高校生以上)500円
問/tel 0296-77-1101(笠間市商工観光課)
- ◆第7回 磯蔵酒造 ちよっ蔵新酒を祝う会
4/28(日)11:00～21:00頃
料/2000円(新酒四合瓶、酒器付)
問/0296-74-2002(磯蔵酒造)
- ◆第32回 笠間の陶炎祭(ひまつり)
4/29(月・祝)～5/5(日・祝) 9:00～17:00
場/笠間芸術の森公園イベント広場
問/tel 0296-73-0058(笠間焼協同組合)
- ◆匠工房・笠間フェア
5/3(金・祝)～5/5(日・祝) 9:00～16:30
場/「匠工房・笠間」茨城県工業技術センター窯業指導所
問/tel 0296-72-0316



笠間の陶炎祭(ひまつり)

◆九ちゃんの家を残そうイベント

5/3(金・祝)～5/5(日・祝) 場/九ちゃんの家
問/tel 090-2565-8681(九ちゃん会・小田部)

◆合気神社大祭

4/29(月・祝)11:00～ 場/合気神社
問/tel 0299-45-6071(財団法人合気会 茨城支部道場)

◆鳳台院の石楠花

5月上旬～5月下旬
問/tel 0296-72-0024(鳳台院)



石楠花(しゃくなげ)

◆いちご狩り

5月下旬頃まで 9:30～15:30(受付は15:00まで)
料/2月1300円、3月1200円、4月1100円、5月1000円
(3歳未満無料、20名以上割引有り ※団体要予約)

南指原観光いちご園

休/月曜(祝日の場合は翌日)

問/tel 0296-70-3133(笠間クラインガルテン農産物直売所)

笠間観光いちご園

休/無休 問/tel 0296-72-9280(笠間みんげい)

◆グリーンフェスタかさま 2013

6/22(土)16:00～18:30(予定)
日本ゴルフツアー選手権の出場選手のチャリティオークションや模擬店などを開催。

場/穴戸ヒルズカントリークラブイベント広場
問/tel 0296-72-9222(笠間観光協会)

◆第10回 道の市

6/1(土)・6/2(日)10:00～17:00

場/稲荷町交差点から130m区間

問/tel 0296-72-0119(さくらガス(株)藤枝)

◆行幸町わくわくフェスタ

6/2(日)10:00～20:00

場/笠間駅前通り行幸町地区内

問/tel 0296-72-0504(青木)

◆路面喫茶

6/1(土)～6/30(日)の土曜と日曜 9:00～17:00

場/陶の小径 問/tel 0296-72-6865(やまさき陶苑)

おすすめ施設・定期開催イベント

◆北山公園・キャンプ場

無料のキャンプ場とバーベキュー場があります。

料/無料(キャンプ場の使用、鉄板レンタル、ほか)

問/北山公園管理事務所 tel 0296-78-3911

◆スカイロッジ・バーベキュー広場

燦々と降り注ぐ太陽の下、標高300メートル付近から遠く太平洋、霞ヶ浦が望めます。 ※5Pに関連情報(楽々パーティープラン)あり

営/10:00～14:00 料/1セット2,550円

問/スカイロッジ管理事務所 tel 0299-45-6622

◆栗の家 骨董市

毎月第1・3日曜日 6:00～15:00 場/栗の家

問/tel 0299-45-5124(※悪天候:誠屋 tel 090-1660-3460)

◆パズル de いわま 毎月第2日曜日 9:00～15:00

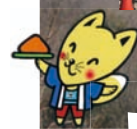
場/岩間駅南広場 問/(根本)tel 090-3009-7883

◆笠間いきいき市場

毎月第3日曜日 9:00～15:00

場/笠間市みどりの広場(旧畜産試験場)

問/笠間いきいき市場 運営委員会 tel 0296-78-5888



笠間のいな吉が行く！

※注 実際の「笠間のいな吉」は
こんなに大きくありません



ご当地グルメサミット in 笠間



長〜いそばいなり寿司巻きに挑戦した
「初午いなり寿司まつり」も開催。
今回の記録68.95m。



ご当地グルメで街を元気に 2日間で8万4千人が来場

笠間のいなり寿司は3ヶ入り300円で販売。



かさま観光大使も応援／うまい栗焼酎をつくる研究会・笠間の栗焼酎／宇都宮市のマスコットキャラクター“ミヤリー”／水戸ご当地アイドル(仮)

天気に恵まれた2月10日と11日の両日、笠間芸術の森公園イベント広場において「ご当地グルメサミット in 笠間」が開催され、2日間で8万4千人の皆さまにご来場いただきました。笠間からはご当地グルメの祭典・B-1グランプリに出展中の「笠間のいなり寿司いな吉会」や、日本一の生産量を誇る笠間の栗を使った「うまい栗焼酎をつくる研究会」、食の逸品のコーナー(7P参照)でも紹介している「笠間自然薯研究会」など、味自慢のグループやお店が集まり、食をとおして笠間の素晴らしさをたくさんの人たちにPRすることが出来ました。

茨城県外からはB-1グランプリでゴールドグランプリを受賞している「甲府鳥もつ煮でみなさまの縁をとりもつ隊」、ユニークなネーミングの「行田ゼリーフライ研究会」などが出展。県内からは、那珂湊やきそば(ひたちなか市)、みつだんご(大洗町)、龍ヶ崎コロッケ(龍ヶ崎市)など、茨城を代表するご当地グルメが大集合しました。今人気のご当地キャラクターやご当地アイドルが登場したステージイベントも行われ、楽しく盛り上がった2日間でした。ご来場いただいた皆さま、本当にありがとうございます！



笠間小学校の桜並木



佐白山ろく公園



愛宕山頂の八重桜

お花見デートもおすすめ 笠間の桜スポット



北山公園の桜並木

笠間市内にはおすすめの桜スポットがたくさんあります
大切な人と一緒に ぜひおでかけください！

笠間市内のおすすめの桜スポットをいくつか紹介しましょう。北山公園と愛宕山頂ではそれぞれ、4月に桜まつりが開催され(3Pイベント情報参照)盛り上がっています。北山公園の桜並木はドライブしながら鑑賞すると、桜のトンネルをくぐっているようです。市街地付近では笠間小学校の桜並木が見事。笠間稲荷神社や笠間日動美術館に近いので、ちょっと足をのばせば楽しめます。ほかにも佐白山ろく公園や央戸駅付近にあるしだれ桜、飯田ダムの山桜など、おすすめしたい場所がいっぱいです。笠間市はまた、まち全体が「陶芸の里 かさま」として「恋人の聖地」に選定されています。笠間焼体験や美術館めぐりなどと合わせて、お花見デートを楽しんでみてはいかがでしょうか。

Lover's
Sanctuary
恋人の聖地

笠間市は茨城県ではじめて、「恋人の聖地」に「恋人の聖地 陶芸の里 かさま」として選定されました。特定の場所ではなく、まち全体が恋人の聖地として選定されるのは、全国でも珍しいケースです。
ホームページ <http://www.koibito-kasama.jp/>

あたご天狗の森
スカイロッジ



スカイロッジへご宿泊のお客様へ！ おすすめ「楽々パーティープラン」

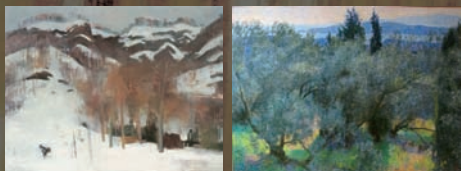
幹事さんに朗報！ 生ビール・オードブルご注文承ります。

- * 生ビール * キリン7ℓ (プラカップ付) 6,000円
- * オードブル * 4人前 2,500円 6人前 3,500円

1. 3日前までのご予約が必要となります。
2. キャンセルは、2日前までをお願いします。
3. 取扱不可の期間 ① 生ビール、オードブルともに12月31日～1月3日。
② 生ビールは、火曜日のご注文が出来ません。

笠間日動美術館 問/tel 0296-72-2160

◆自然美を謳う 金山平三・佐竹徳の世界 3/9(土)～6/2(日)



金山平三「雪深し」1945-56年 佐竹徳「牛窓」1978年

開/9:30～17:00(入館受付は16:30まで)

休/毎週月曜日(但し4/29、5/6は開館、5/7は休館)

料/大人1000円、大学・高校生700円、中学・小学生500円、
65歳以上800円(20名以上の団体は各200円割引)

春風萬里荘との共通券/大人1400円、大学・高校生900円、
中学・小学生600円、65歳以上1100円(20名以上の団体は各200円割引)

◆学芸員によるギャラリートーク(聴講無料、入館料要)
3/23(土)、4/28(日)14:00～14:30

◆対談会「私が出会った巨匠たち」4/6(土)14:00～15:00

講師/長谷川徳七(当館館長)、長谷川智恵子(同副館長)

◆美術講座「一日画家体験」(受講無料、入館料要、材料費自己負担)

3/9(土)「エドガー・ドガ」、5/11(土)「マックス・エルンスト」 定員/30名

10:00～11:30 「画家の人生を学んで体験」

13:00～16:00 「画家の作風を模写で体験」

◆夢境庵茶会(席主:表千家 原田勝子)

4/13(土)10:00～16:00 春風萬里荘茶室「夢境庵」

◆天満敦子ヴァイオリンコンサート(クラブツーリズム共同企画)

4/22(月)17:30開演(約90分)※当日は休館日です。ご注意ください。

◆プチコンサート「リコーダーで巡る四季 ～春から夏へ～」

5/5(日)14:00～15:00

出演:ファミリーオ(リコーダー/吉羽隆、吉羽文江、吉羽正太、竹村菰子)

笠間工芸の丘 問/tel 0296-70-1313

◆八十島雅樹・八重子作陶展 4/3(水)～4/21(日)

◆益子淳一作陶展 4/3(水)～4/14(日)

◆渡部源土作陶展 4/24(水)～5/6(月・祝)

◆新進作家陶芸展 4/17(水)～5/12(日)

◆川又南岳展 5/9(木)～5/26(日) ◆佐藤しづ展 5/29(水)～6/9(日)

◆伝統工芸士展 6/19(水)～7/7(日) ◆新井倫彦作陶展 6/19(水)～6/30(日)

茨城県陶芸美術館 問/tel 0296-70-0011

◆没後10年人間国宝 松井康成展 4/20(土)～6/16(日)

料/一般700円(550円)、高大生500円(400円)、小中生250円(200円)

◆コレクション展/近現代日本陶芸の巨匠たち ～5/26(日)

◆新収蔵品展 5/28(火)～9/16(月・祝)

◆受贈記念 原清展 6/5(水)～6/23(日)

◆現代茨城の陶芸展 ～6/2(日)

◆現代茨城の陶芸展 6/5(水)～

休/毎週月曜日(祝日の場合は翌日休)

料/一般300円(250円)、高大生250円(200円)、小中生150円(120円)

ギャラリー情報

◆かつら陶芸 tel 0296-72-6688

●堀水達雄・小夜 2人展 3/23(土)～4/7(日)

●尾崎高行作陶展 4/2(火)～4/21(日) 織部の食器、花器。

●原田みどり M工房展 4/16(火)～5/12(日)

◆きらら館 tel 0296-72-3109

●岩本倫子作陶展 4/9(火)～4/21(日)

半磁器の器。古風な絵柄ながらかわいさがあります。

●中浦和博作陶展 4/23(火)～5/6(月・祝)

練り込み技法の器。色の付いた土を組み合わせた面白い作品です。

●酒器展(仮) 5/7(火)～5/19(日)

笠間の作家を中心に、全国の作家の酒器や日常的に使う器を展示。

●駒澤博司作陶展 5/21(火)～6/2(日)

思いが込められた作品にはテーマがあり、メッセージを送っています。

●河野カイ作陶展 6/4(火)～6/16(日)

黄瀬戸、織部釉を使い渋さの中にかわいさがある、日常的に使いたくなる器。

◆Glass Gallery SUMITO tel 0296-72-2104

●水吉郁子 ガラス展 3/30(土)～4/14(日)

●中村敏康 切子展 4/20(土)～5/6(月・祝)

●谷美由紀 ガラス展 5/11(土)～5/26(日)



左より水吉郁子さん、中村敏康さん、谷美由紀さんの作品

原陶工房

やきもの通りとギャラリーロードを結ぶ陶の小径に位置する、片喰の家紋の染められた日よけ幕が目印のお店です。日用の食器からインテリアまで、幅広い品揃えです。

【会員特典】お買い上げ価格より10%引き

住/笠間市笠間2192-19 電/0296-72-5511

営/9:00～18:00 休/不定休

<http://www.haratokoubou.com/>



人気のボタンシリーズのセット

新作のコーヒードリッパー



ギャラリー舞台

ギャラリーロードにある丸い形の屋根のかわいらしいお店です。料理を引き立て、生活を楽しむ焼きもの・ガラス・鉄の作品など、約40人の作家作品を展示・販売しています。

【会員特典】お買い上げ価格より10%引き(一部除品あり)

住/笠間市笠間2518-8 電/0296-73-0700

営/11:00～18:00(冬期17:00) 休/月曜日(祝日の場合は翌日)

<http://butaikasam.exblog.jp/>



3/19(火)～31(日) shimacraft 展
5/18(土)～6/2(日) 櫻井理人・あゆみ 展

笠間ファン倶楽部＊会員募集中＊

笠間ファン倶楽部は、笠間の隠れた情報を発信し、交流人(外)の眼が多くの笠間人(内)の眼とふれあえる場をつくる新しい仕組みです。ぜひ皆さんお申し込み下さい。＊無料会員と有料会員があります。

笠間市役所 商工観光課(笠間ファン倶楽部事務局)

〒309-1792 茨城県笠間市中央三丁目2番1号

TEL 0296-77-1101 FAX 0296-77-1146

E-mail kasamafan@city.kasama.ibaraki.jp

笠間のいな吉司
推進キャラクター
笠間特別観光大使
「笠間のいな吉」®

メールの際にはタイトルに
「笠間ファン」と記載してください。



←笠間のいな吉ブログはこちら

観光・イベント情報や様々な取り組みなどを配信中!

笠間ファン倶楽部フェイスブックページを開設!

笠間ファン倶楽部のイベント情報や笠間市の観光情報、特産品の情報など、笠間市の楽しい情報をタイムリーに皆様にお知らせしていきたいと考えています。ぜひご覧の上、「いいね!」または「シェア」をお願いします。



◀笠間ファン倶楽部facebookページURL
<http://www.facebook.com/kasamafan>



▲笠間観光協会FacebookページURL
<https://www.facebook.com/kasamakankou>

笠間自然薯研究会の栽培する自然薯は、平成15年に茨城県「うまいもどころ」の認証を取得。平成16年には「園芸きらり産地コンクール」最優秀賞を受賞するなど、高く評価されています。自然薯とはヤマモ科の一種で、昔から漢方薬に用いられるなど、滋養強壮に優れた食材として知られています。ビタミンやミネラルが豊富で、疲労回復や生活習慣病の予防・更年期障害などにも効果があるといわれています。すり鉢で搗くと「真白」でまるで餅のような弾力があるのが特徴です。

同研究会が栽培する自然薯は、有機肥料100%を使用。減農薬で畑の土を出来る限りに自然に近づけています。まっすぐバランス良く伸びるよう、パイプを使うなどの工夫をし、味も形も安定した最高品質の商品を消費者に届けるため、会員それぞれの栽培方法をチェック。厳しい内部審査基準をクリアしたものだけを出荷しています。ホームページまたは国道355号沿いにある直売所で購入可能。ネット通販のほかにホームページには、自然薯の美味しい食べ方やレシピ、保存法が紹介されていて、一見の価値あります。



笠間自然薯研究会
の大里安夫さん。

笠間自然薯研究会 販売所

住／笠間市手越418-2(国道355号沿い)
営／土・日・祝日のみ、9:00～日没まで
ホームページ <http://kasama-jinenjo.jp/>

FAN FAN KASAMA

暖かなぬくもりのある笠間焼。笠間の山々、笠間の人々、行くと心がホットします。笠間焼大好き。応援しています!! (千葉県・女性)

子供の頃から使い親しんだ笠間焼が好きでよく笠間に購入に行きます。笠間焼の魅力をもっと多くの人に知ってもらいたいと思います。私も陶芸好きの友人を陶器市に誘ったりしています。(茨城県・男性)

読者の声

笠間ファン倶楽部体験事業報告

お正月準備は笠間にお任せ！

12月22日(土)に、笠間ファン倶楽部体験事業「お正月準備は笠間にお任せ！」を開催しました。あいにくの天気でしたが、多くの方にご参加いただきました。

まずは「杵」と「臼」を使って餅つきを行いました。餅つきは大変な力仕事でしたが、みなさん楽しそうに作業をしていました。そして、つき上がったお餅で鏡餅作りに挑戦しました。参加者のみなさんはそれぞれに自分の鏡餅を完成させました。丸く成形するのはなかなか難しかったです。

昼食は全員でついたお餅を使ったお雑煮。つきたてのお餅の味は格別で、みなさんとても美味しそうに食べていました。

食事の後は、しめ飾り作りをしました。難しいわら細工に四苦八苦しながらも、みなさん素晴らしいしめ飾りを作りあげることができました。

また今回の体験事業では、田口英一さんにしめ飾り作りの講師としてお手伝いいただきました。ご協力ありがとうございました。

笠間ファン倶楽部では、今後も様々な体験事業を企画しております。

会員みなさん、ぜひご参加ください！



笠間ファン倶楽部／体験事業報告

私から見た笠間の印象・魅力

笠間市産業経済部長 神保 一徳



昨年8月に笠間市に赴任してから半年が過ぎました。もともと国家公務員として東京・霞ヶ関の総務省で働いておりましたが、国と地方公共団体の人事交流の一環で、笠間市の職員として仕事をする機会をいただき、現在に至っております。

私が所属する産業経済部は、農政課、農村整備課、商工観光課の三課から成り、農業の振興・ブランド化、土地改良等の農業基盤整備、観光業・商工業の振興などの業務を担当しております。

妻は茨城県牛久市の出身で、笠間にも何度か来たことがあったようですが、私自身にとっては、今回の赴任で初めて足を踏み

入れた土地でした。そこで、こちらに来てから感じたことをいくつかお話しさせていただきますと思います。

まず一つには、市内で開催されるイベントの多さ、そして来場者の多さがあげられます。昨年8月から半年強の間に、笠間のまつり、新栗まつり、笠間浪漫、笠間の菊まつり、ふるさとまつり、天狗まつり、悪態まつり、初詣、ご当地グルメサミットin笠間…などなど、数々のイベントなどに参加しました。これから春の観光シーズンに入っていきますが、つつじまつり、陶炎祭など楽しいイベントが続きます。

次に思ったことは、食べ物の美味しさがあります。私自身、そんなに舌が肥えているわけではありませんが、それでも、昨年某有名テレビ番組でも取り上げられた、笠間の栗をはじめとして、地酒、ブドウ、梨、牛肉、米、お菓子、大根ドレッシング等々、ほかの方にもお勧めできるもののがかなりあるように思っております。このような地元産品の「地産地消」に自主的に(?)取り組んだ結果、体重が増加傾向にあります…。

また、ありがたいことに、笠間には熱心な応援団の方々がいらっしゃいます。笠間ファンになるきっかけは、ご本人・ご親族

が笠間出身、笠間焼、クラインガルテンなどいろいろあるかと思いますが、笠間市のPRや都市・農村の交流などいろいろな場面で多大なるご尽力をいただいております。お話を伺っていても皆さんの笠間への「熱」の高さをひしひしと感じ、心強く思っております。

その一方で、例えば首都圏在住であっても、そもそも笠間市のことを知らない、知っていても何があるのか、何が美味しいのかなど良くわからないという方々も多くいらっしゃるものと思います。私自身、笠間市に引っ越す前には千葉県柏市に住んでおりましたが、笠間市に関する知識はほとんどありませんでした。このような、少し前の自分のような方々に、笠間の魅力をもっと知ってもらえれば…と考えているところです。芸術、イベント、食、農業、自然、ハイキング…など訴えかける「キーワード」はかなりあると思います。

これからも、市民の皆さんや笠間応援団の皆さんとのつながりを大事にしながら、笠間の良いものや良いところを広く皆さんに知っていただけるよう、私としても微力ながら努力していきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

笠間へのアクセス

Access

